

—総括表—

◆ 事業計画

地域の現状と今後の方向性

戸建ての住宅地として開発され、同時期に入居された世代が一斉に高齢化している。住民同士の支え合いの仕組みづくりが進んでいる地域も有るが地域活動やボランティア活動の高齢化、固定化が一様に見られている。一方、斜面地の開発や、戸建て住宅の世代交代、相鉄線のJR乗り込みによる西谷駅の利便性も影響し少しずつ若い世代の流入も見られている。多世代交流を促し、地域の活性化が求められている。

新規	継続	—具体的な取組内容—
<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	チームオレンジの取り組み 認知症になっても安心して暮らし続けられるネットワークがある街であることを可視化し体感出来ることを目指す。昨年立ち上がった「認知症を学ぶ・スマイルカフェ」が認知症理解と普及啓発の為にチームオレンジの活動拠点と成るよう取り組み、この取り組みの最終目標で有る「住民主体のチームオレンジ」を目指す。
<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	多世代食堂「白根みらい食堂」が、白根地区社会福祉協議会主催で毎月開催されている。実際に運営に関わるボランティアスタッフの相談対応、支援を行い、継続的安定的な事業継続を目指し、担い手と参加者が安心して集える居場所を支える。
<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	住民同士が助け合う「おすそ分け会」を開催していく。 地域住民や、趣旨にご賛同いただいた企業からの献品の頒布会を開催し、困った時はお互い様の継続的な循環サイクルを構築し、事業開催に携わってくれるボランティアも継続的に支援し、他の活動の場へも互換性をもって導いていく。
<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	生活様式の変化によって課題が現出してきた活動団体に対して、ケアプラザがプラスワンのご提案を行い、活動の活性化を支援する。 場合によっては、活動と活動のマッチング等も行っていく。
<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	買い物支援、集いの場作りのご相談をいただいている地域が有る。 担当地域内のアセスメントを深め、移動販売やサロン展開も含め地域や区社協、関係団体と相談しながら、社会資源の開発、導入を検討し住民主体の地域作りを目指す。

◆ 事業報告・事業実績評価

振り返り

区からのコメント

令和4年度横浜市白根地域ケアプラザ事業計画書・報告書(施設運営、介護保険事業)

1 施設の適切な運営について

	公正・中立性の確保について	コンプライアンスへの対応について (事故防止、個人情報保護等)
取組計画	福祉サービスご利用に関しては、複数のパンフレットやインターネットを利用して事業所選択への支援を行う。ケアマネジャーの事業所選択に際しては、旭区から提供される居宅介護支援事業者空き情報を提示し、本人、家族の希望に沿った選択が出来るよう助言していく。	全体での個人情報保護研修を年に2回以上実施。毎朝の朝礼で個人情報の取り扱い留意点を全員で唱和。また、毎月実施している職員全体研修で、ヒヤリハット事例の共有・検証を行い、常に自己チェックを促し、事故防止に努めていく。
実績		

2 指定介護予防支援事業、居宅介護支援事業

	指定介護予防支援事業 第1号介護予防支援事業	居宅介護支援事業
目標	住み慣れた地域で要介護状態に至らず暮らし続けられるよう介護予防支援計画を作成する。	住み慣れた地域で、安心して日常生活を営み、出来る限りご自宅での生活を継続できるように、ご利用者様の意向に沿った適切な自立支援志向型のケアプランを作成する。
職員体制	主任ケアマネジャー、保健師(管理職兼務)、社会福祉士	介護支援専門員:常勤4名(専従3名、管理者兼務1名)
契約者数		

3 通所系サービス事業

	通所介護 (介護予防・第1号・通所介護)	認知症対応型通所介護 (介護予防・通所介護)	地域密着型通所介護 (介護予防・通所介護)
目標			
実施体制	【実施日数】 【提供時間】 【定員】	【実施日数】 【提供時間】 【定員】	【実施日数】 【提供時間】 【定員】
利用料金・実費負担			
職員体制			
契約者数等	【延べ利用者数】 【契約者数】	【延べ利用者数】 【契約者数】	【延べ利用者数】 【契約者数】

令和4年度「横浜市白根地域ケアプラザ」
収支予算書及び報告書（一般会計）＜地域活動交流＞

(単位：円)

収入の部

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
指定管理料	16,261,703		16,261,703		16,261,703	横浜市より
自主事業収入（指定管理料充当の自主事業）	0		0		0	
雑入	0	0	0	0	0	
印刷代	0		0		0	
自動販売機手数料	0		0		0	
その他	0		0		0	
その他	169,502		169,502		169,502	
収入合計	16,431,205	0	16,431,205	0	16,431,205	

支出の部

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
人件費	10,979,318	0	10,979,318	0	10,979,318	
本俸	9,669,506		9,669,506		9,669,506	
社会保険料	704,914		704,914		704,914	
手当計	530,988		530,988		530,988	
健康診断費	3,819		3,819		3,819	
勤労者福祉共済掛金	0		0		0	
退職給付引当金繰入額	64,528		64,528		64,528	
その他	5,563		5,563		5,563	
事務費	1,619,888	0	1,619,888	0	1,619,888	
旅費	6,915		6,915		6,915	公共交通機関交通費、ガソリン代
消耗品費	204,125		204,125		204,125	事務用品 他
会議ठीい費	0		0		0	
印刷製本費	270,180		270,180		270,180	複合機カウント料金
通信費	718,965		718,965		718,965	電話代、切手代
使用料及び賃借料	0	0	0	0	0	
自販機目的外使用料（横浜市への支出）	0		0		0	
その他	0		0		0	
備品購入費	0		0		0	
図書購入費	0		0		0	
施設賠償責任保険	35,062		35,062		35,062	賠償保険料
職員等研修費	18,431		18,431		18,431	地域食堂立ち上げ基礎研修他
振込手数料	271		271		271	銀行振込手数料
リース料	74,169		74,169		74,169	PC・玄関マット 他
手数料	0		0		0	
地域協力費	12,666		12,666		12,666	社会福祉協議会会費、在宅サービス協会会費 他
その他	279,104		279,104		279,104	自動車保険料、車両修繕費、消防設備法定点検代、文書保管料他
事業費	530,837	0	530,837	0	530,837	
運営協議会経費	42,000		42,000		42,000	
自主事業費（指定管理料充当の自主事業）	488,837		488,837		488,837	
その他	0		0		0	
管理費	1,729,230	0	1,729,230	0	1,729,230	
光熱水費	454,089		454,089		454,089	
清掃費	829,344		829,344		829,344	
機械整備費	93,852		93,852		93,852	
設備保全費	351,945	0	351,945	0	351,945	
空調衛生設備保守	112,970		112,970		112,970	
消防設備保守	52,140		52,140		52,140	
電気設備保守	26,070		26,070		26,070	
害虫駆除清掃保守			0		0	
駐車場設備保全費			0		0	
その他保全費	160,765		160,765		160,765	
共益費			0		0	
その他			0		0	
修繕費	474,000		474,000		474,000	予算：指定額
公租公課	1,097,932	0	1,097,932	0	1,097,932	
事業所税			0		0	
消費税	1,097,932		1,097,932		1,097,932	
印紙税			0		0	
その他			0		0	
その他			0		0	
支出合計	16,431,205	0	16,431,205	0	16,431,205	
差引	0	0	0	0	0	

自主事業費 収入	0	0	0	0	0	
自主事業費 支出	488,837	0	488,837	0	488,837	
自主事業 収支	△ 488,837	0	△ 488,837	0	△ 488,837	

管理許可・目的外使用許可に関わる収入	0	0	0	0	0	目的外使用許可(自販機)による手数料収入
管理許可・目的外使用許可に関わる支出	0	0	0	0	0	目的外使用許可(自販機)による横浜市への支出
管理許可・目的外使用許可に関わる収支	0	0	0	0	0	

※各大項目の内訳については、「その他」欄に集約して記載している場合もあります。

令和4年度「横浜市白根地域ケアプラザ」
収支予算書及び報告書（特別会計）＜包括・介護予防・生活支援＞

(単位：円)

収入の部

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
指定管理料【包括】	22,469,359		22,469,359		22,469,359	横浜市より
指定管理料【介護予防】	154,000		154,000		154,000	横浜市より
指定管理料【生活支援】	5,792,898		5,792,898		5,792,898	横浜市より
自主事業収入（指定管理料充当の自主事業）【包括】			0		0	
自主事業収入（指定管理料充当の自主事業）【介護予防】			0		0	
自主事業収入（指定管理料充当の自主事業）【生活支援】			300,000		300,000	
雑入	0	0	0	0	0	
印刷代			0		0	
自動販売機手数料			0		0	
その他			0		0	
その他	300,000		300,000		300,000	チームオレンジ
収入合計	28,716,257	0	28,716,257	0	28,716,257	

支出の部

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
人件費	25,909,925	0	25,909,925	0	25,909,925	
本俸	16,945,634		16,945,634		16,945,634	
社会保険料	2,924,365		2,924,365		2,924,365	
手当計	5,628,818		5,628,818		5,628,818	
健康診断費	17,459		17,459		17,459	
勤労者福祉共済掛金	0		0		0	
退職給付引当金繰入額	376,962		376,962		376,962	
その他	16,687		16,687		16,687	
事務費	714,426	0	714,426	0	714,426	
旅費	31,721		31,721		31,721	公共交通機関交通費、ガソリン代
消耗品費	90,653		90,653		90,653	事務用品 他
会議ठी費	0		0		0	
印刷製本費	130,381		130,381		130,381	複合機カウント料金
通信費	230,182		230,182		230,182	電話代、切手代
使用料及び賃借料	0	0	0	0	0	
自販機目的外使用料（横浜市への支出）	0		0		0	
その他	0		0		0	
備品購入費	0		0		0	
図書購入費	0		0		0	
施設賠償責任保険	9,320		9,320		9,320	賠償保険料
職員等研修費	18,808		18,808		18,808	地域食堂立ち上げ基礎研修他
振込手数料	51		51		51	銀行振込手数料
リース料	61,191		61,191		61,191	PC・玄関マット 他
手数料	0		0		0	
地域協力費	32,666		32,666		32,666	社会福祉協議会会費、在宅サービス協会会費他
その他	109,453		109,453		109,453	自動車保険料、車両修繕費、消防設備法定点検代、文書保管料他
事業費	1,506,240	0	1,506,240	0	1,506,240	
協力医	630,000		630,000		630,000	予算：指定額
自主事業費（指定管理料充当の自主事業）【包括】	107,240		107,240		107,240	
自主事業費（指定管理料充当の自主事業）【介護予防】	154,000		154,000		154,000	
自主事業費（指定管理料充当の自主事業）【生活支援】	315,000		315,000		315,000	
その他	300,000		300,000		300,000	チームオレンジ経費
管理費	459,666	0	459,666	0	459,666	
光熱水費	120,706		120,706		120,706	
清掃費	220,457		220,457		220,457	
機械警備費	24,948		24,948		24,948	
設備保全費	93,555	0	93,555	0	93,555	
空調衛生設備保守	30,030		30,030		30,030	
消防設備保守	13,860		13,860		13,860	
電気設備保守			0		0	
害虫駆除清掃保守	6,930		6,930		6,930	
駐車場設備保全費			0		0	
その他保全費	42,735		42,735		42,735	
共益費			0		0	
その他			0		0	
修繕費	126,000		126,000		126,000	予算：指定額
公租公課	0	0	0	0	0	
事業所税			0		0	
消費税			0		0	
印紙税			0		0	
その他			0		0	
その他			0		0	
支出合計	28,716,257	0	28,716,257	0	28,716,257	
差引	0	0	0	0	0	

自主事業費 収入	0	0	0	0	0	
自主事業費 支出	576,240	0	576,240	0	576,240	
自主事業 収支	△ 576,240	0	△ 576,240	0	△ 576,240	

管理許可・目的外使用許可に関わる収入	0	0	0	0	0	目的外使用許可（自販機）による手数料収入
管理許可・目的外使用許可に関わる支出	0	0	0	0	0	目的外使用許可（自販機）による横浜市への支出
管理許可・目的外使用許可に関わる収支	0	0	0	0	0	

※各大項目の内訳については、「その他」欄に集約して記載している場合があります。

令和4年度 自主事業計画書・報告書

■ 事業 1: 地域活動交流事業 2: 地域包括支援センター運営事業 3: 生活支援体制整備事業 4: 共催(1と2) 5: 共催(1と3) 6: 共催(2と3) 7: 共催(1と2と3)			■ 事業の性質 1: 優先的に取り組みが求められる事業 2: 福祉保健活動に発展させることをねらいとした事業		■ 主な対象者、従たる対象者 1: 高齢者 2: 障害児・者 3: 養育者及び乳幼児 4: 子ども・青少年 5: 地域 6: 事業者 7: その他		
--	--	--	---	--	---	--	--

No	事業名	開始年度	事業	事業の性質	事業目的	主な対象者	従たる対象者(複数選択可)	事業内容・実施時期	合計	
									実施回数	延べ参加人数
1	白根ケアプラザ大学	平成30年度	2: 地域包括支援センター運営事業	1: 優先的に取り組み	継続的に伝える健康増進の講座の展開。新しい繋がりや通いの場となり、地域との関わりを増やす。	1: 高齢者		地域住民を対象に、ロコモ予防・認知症予防・お口のお手入れ・栄養等を総合的に学ぶ。(6/15、7/20、8/17、9/21、10/19、11/16、12/21、1/18、2/15)		
2	もっと健康体操講座	令和4年度	2: 地域包括支援センター運営事業	1: 優先的に取り組み	普段白根エリアで活動しているボランティアのスキルアップに加え、地域で運動に興味がある方を対象に、運動に対する座学、スリーA、脳と体操を様々な講師から学び、普段の運動にプラスαとして取り入れて頂く。	5: 地域		毎週月曜日の連続講座を実施 スリーA 5/16 ハマトレ 5/23 ピーアウェイク 5/30		
3	癒介市場〜ゆかいマルシェ〜	平成30年度	2: 地域包括支援センター運営事業	1: 優先的に取り組み	介護にかかわっている家族等が、社会的に孤立することのないよう、「学ぶ・共有・癒し」を目的に集える場を提供する。	5: 地域		偶数月第3木曜日13:30~15:30 介護者同士の交流を中心に、年3回を予定に介護者向けの研修を企画。 6/16老健について 12/15グループホーム(予定) 2/16特養(予定)		
4	出張・介護保険説明会	令和4年度	2: 地域包括支援センター運営事業	1: 優先的に取り組み	介護保険制度の普及啓発により、予防的利用を促進し健康寿命の延伸への動機づけをする。	5: 地域		地域の方々が運営する認知症を学ぶ・スマイルカフェにて「介護保険制度とは？」をテーマに介護保険制度の説明会を実施。 3/24(日)		
5	CM研修会	令和4年度	2: 地域包括支援センター運営事業	1: 優先的に取り組み	情報の収集と分析を可視化して一体的に行い、アセスメント力の向上を図る。ケアプランの根拠を示せることで、相談支援ならびにケアチームの質向上を図る。	7: その他		「アローチャートを用いた思考過程の可視化と家族アセスメントの視点」研修4/22 事例検討会 5/27 7/15 9/16 11/18 1/20 3/17		
6	CMと医療連携	令和4年度	2: 地域包括支援センター運営事業	1: 優先的に取り組み	協力医とケアマネジャーとの関係性構築。同テーマでの意見交換を行い、医療・介護の現場理解を図る。	7: その他		「埼玉でこもり事件を考える」をテーマにCMにアンケート実施。結果をもとに、「医療・介護現場でのハラスメント」「8050問題」について意見交換会を行う。 5/31(火)		
7	出張相談会@スマイルカフェ	令和3年度	2: 地域包括支援センター運営事業	1: 優先的に取り組み	スマイルカフェ参加者の個別相談に応じ、地域包括支援センターの機能の周知を図る。	5: 地域		地域の方が運営する認知症を学ぶ・スマイルカフェにて、情報提供・個別相談コーナーを設置。必要時、個別相談に応じる。(スマイルカフェ開催時実施)		
8	行政書士個別相談会	平成27年度	2: 地域包括支援センター運営事業	1: 優先的に取り組み	法律専門職に個別相談をする機会をケアプラザ内で設けることで、権利擁護の普及啓発を推進する。	5: 地域		行政書士の先生2名に、各組40分程度ずつ3組を目安に無料でご相談に乗って頂く。 (5/21、9/29、1/28)		
9	終活講座・今からはじめるおうちの片づけ	令和4年度	2: 地域包括支援センター運営事業	1: 優先的に取り組み	生前整理について考え、老いの不安を少しでも解消する終活のきっかけとする。	1: 高齢者	5	生前整理・自宅の片づけについての基本やポイント、業者に依頼をする際の料金についてなどの講義。 (7/12)		
10	終活講座・人生100年時代に考える住まいとお金の話	令和4年度	2: 地域包括支援センター運営事業	1: 優先的に取り組み	高齢期の住み替えとかかる費用等について学び、自身の今後の生活について具体的に考えていくきっかけとする。	1: 高齢者	5	介護保険関連施設やその他の施設、高齢期でも自立生活を送る住居について、住み替えや今後かかるであろう費用や住み替えのポイントなどの講義。(10/15)		
11	世界アルツハイマーデー応援認知症に寄り添う図書コーナー	令和4年度	2: 地域包括支援センター運営事業	1: 優先的に取り組み	世界アルツハイマーデーにちなみ、地域の方が認知症について理解を深め、認知症になっても安心して住み続けられる街づくりを推進する。	5: 地域		旭図書館の協力を得て、来館される幅広い世代の方に向けてケアプラザに認知症関連図書コーナーを設置。(9月中)		
12	ボランティアプラス	令和4年度	5: 共催(1と3)	2: 発展させるねらい	ボランティア活動への参加を促す。また、新たにちよつとボランティア団体設立を視野にいれる。	5: 地域	1	団体登録の更新をした方々を集まっていたが、団体同士の交流とボランティア活動について話し合う。		
13	おすそ分け会	令和3年度	5: 共催(1と3)	1: 優先的に取り組み	ゴールデンウィークの多世代交流と地域の支え合い活動の支援。	5: 地域	6	地域や協賛店から援助いただく生活用品を無料頒布する。同時に、子供向けゲームを用意して、多世代交流の機会とする。		
14	シニアボランティアポイント登録研修会	平成27年度	3: 生活支援体制整備事業	1: 優先的に取り組み	ポイントの付与により、元気な高齢者が地域のボランティア活動を行い、ご本人の健康維持と介護予防、社会参加、地域貢献を通じた「生きがいづくり」を促進。	1: 高齢者		よこまシニアボランティアポイント登録について説明。		
15	団体説明会	令和2年度	1: 地域活動交流事業	1: 優先的に取り組み	団体Ⅰ、団体Ⅱ向けに説明会を通して、施設利用についての確認事項等を周知する。	5: 地域		団体Ⅰ・Ⅱに分けて実施する。感染症予防のための施設利用方法の確認等を行う。		
16	ケアプラザ大掃除	令和2年度	1: 地域活動交流事業	1: 優先的に取り組み	ボランティア活動の意味や大切さの意識を持って頂くことを目的に、福祉保健活動の一環として全登録団体に行っていた。	5: 地域		密を避けるため少人数制で3回に分けて実施する。各部屋の清掃項目、担当グループをアナウンスして安全に作業を行う。		

■ 事業 1：地域活動交流事業 2：地域包括支援センター運営事業 3：生活支援体制整備事業 4：共催（1と2） 5：共催（1と3） 6：共催（2と3） 7：共催（1と2と3）			■ 事業の性質 1：優先的に取り組みが求められる事業 2：福祉保健活動に発展させることを ねらいとした事業		■ 主な対象者、従たる対象者 1：高齢者 2：障害児・者 3：養育者及び乳幼児 4：子ども・青少年 5：地域 6：事業者 7：その他		
---	--	--	---	--	--	--	--

No	事業名	開始年度	事業	事業の性質	事業目的	主な対象者	従たる対象者 (複数選択可)	事業内容・実施時期	合計	
									実施回数	延べ参加人数
17	空き室地域へひらく・活用づくりプロジェクト	令和2年度	1：地域活動交流事業	1：優先的に取り組み	空いている部屋を利用したいという、地域の方や学生・子育て中の方等に、安心安全にご利用頂けるよう、集いの場所として提供する。	3：養育者及び乳幼児	5	空き室利用の仕方を周知していく。また、安心安全に利用できるようルールの周知・徹底を行う。		
18	にこにこサロン	平成27年度	1：地域活動交流事業	1：優先的に取り組み	親子・参加者間に交流の場を提供すると共に、ボランティアも交えて企画・運営を行うことで、子育て支援の在り方を共有し、充実させていく。	3：養育者及び乳幼児		絵本の読み聞かせ、ミニイベント等を開催し、参加者間とボランティアとの交流を行う。 毎月第3火曜日		
19	みんなでゆうゆうサロン	令和3年度	5：共催（1と3）	1：優先的に取り組み	地域の方や高齢者に外に出る機会を提供し、サロンに集うことで、仲間づくりと交流を深めていただくことを目的とする。	5：地域	1	近郊でのバードウォッチング、俳句等室内での活動、ノルディックウォーキングなど、参加者の意見も取り入れて、興味のある内容を企画する。 毎月第2金曜日		
20	ファミリープラザ	令和4年度	1：地域活動交流事業	1：優先的に取り組み	子育て世代対象に、同世代との交流を通して、仲間づくり、子育てや家庭環境に関わる不安や悩みを解消出来るよう支援する。	3：養育者及び乳幼児	4	地域の子育て世代のニーズに合わせた講座やイベントの実施。 毎月第4金曜日又は第2日曜日		
21	まちを知らう！ふるさとウォーキングvol.21～23	令和4年度	1：地域活動交流事業	1：優先的に取り組み	コロナ禍でひきこもり気味な高齢者や地域の方に外に出る機会をつくり、ウォーキングを通して健康作りと仲間づくりの場を提供する。	1：高齢者	5	旭区内及び近郊の名所、史跡等を巡る。ウォーキングフレンズやハマトレサポーターズ白根の協力も得ながら、歩き方指導や準備体操を取り入れて実施する。不定期開催		
22	横浜紀行 その三～五	令和3年度	1：地域活動交流事業	1：優先的に取り組み	コロナ禍でひきこもり気味な高齢者や地域の方に外に出る機会をつくり、写真撮影を通して地域愛を育て、健康づくりと仲間づくりの場を提供する。	5：地域		魅力溢れる横浜の各所を探訪し、後日、それぞれの人が撮った写真を持ち寄り、作品の発表、意見交換を実施して親睦を図る。 不定期開催		
23	ズンパゴールド	令和3年度	1：地域活動交流事業	2：発展させるねらい	コロナ禍でひきこもり気味な高齢者に向け、楽しみながら運動することで健康寿命を伸ばすことを目的とする。運動の苦手な方も参加できるようにする。	1：高齢者		ラテン系音楽のリズムに合わせて筋肉を鍛える。普段あまり使わない筋肉を動かしながら、インナーマッスルを鍛え健康で美しい身体をつくる。 5/2、6/6、7/4		
24	やさしい手話	令和4年度	1：地域活動交流事業	2：発展させるねらい	聴覚障害者にとってとても大切な言語である手話を学び、新たな出会いやコミュニケーションの輪を広げられるようにする。	5：地域		手の動きや顔の表情で意志が伝えられるようになるための基礎講座。全6回 7/1、7/15、7/29、8/19、9/2、9/16		
25	書初め教室	平成30年度	1：地域活動交流事業	1：優先的に取り組み	地域の子育て支援と、書初めを通して日本古来の伝統文化を継承すると同時に、幼児・小・中学生を持つ家庭にケアプラザを周知するきっかけとする。	4：子ども・青少年		習字が初めての幼児の書初め体験と、学校の書写に対し小・中学生の冬休みの課題に対応したアドバイスを行い、書道に親しみをもち、意欲的に取り組めるような内容とする。 12/26、1/5		
26	つるしびなまつり	平成28年度	1：地域活動交流事業	1：優先的に取り組み	地域の方の手作りのつるし飾りやひな飾り、和小物等を展示し、地域の方の憩い・交流の場とすることを目的とする。	5：地域		エントランスから廊下、壁面を利用し一定期間開催・展示する。密にならずに、楽しめる内容の利用方法を提示する。		
27	あさひプレイパークみんなの基地がやってくる	平成30年度	1：地域活動交流事業	1：優先的に取り組み	参加者親子にとっての交流の場とする。身体を使って遊び方を感じ、また遊びの中から親子のスキップの取り方を学ぶ。	3：養育者及び乳幼児		地域との共催事業 プレイリーダーと一緒に、段ボール工作や新聞紙遊び、ねんど遊びなどを実施。		
28	カフェ+プラス	令和4年度	1：地域活動交流事業	1：優先的に取り組み	地域の誰もが気軽に立ち寄れる身近なカフェサロンとして、地域の交流の場、居場所としての機能を充実させる。	5：地域		地域との共催事業 お話しやサロンミュージック等をプラスの機能に加えサロン活動を活性化させる。 毎月第1木曜日		
29	なかよし支援グループ	令和2年度	1：地域活動交流事業	2：発展させるねらい	障害児者と保護者、参加するボランティアと一緒に、地域の中で共に活動し交流を持てるよう繋がりを楽しむ。	2：障害児・者		後方支援 月1回のパン作りや課外体験、地域清掃、地域イベントの参加。 毎月第3日曜日他		
30	白根公園ハマトレ体操	令和2年度	2：地域包括支援センター運営事業	1：優先的に取り組み	コロナ禍の中における、交流の場の減少や運動不足による筋力低下を予防する目的。	5：地域		白根公園でハマトレサポーターズ・ボランティアの協力を得て、毎週月曜日に30分程度の運動習慣を実施していく。また夏休み中の子供の参加も促し多世代交流を図る。(7/26～8月の毎月曜日、雨天中止)		